

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	情報処理学会・第17回アクセシビリティ研究会
演題名	視覚障がい者のためのデブスカメラを用いた下り階段検知・通知システムの開発
発表者	○齋藤勇磨※, <u>塩野目剛亮</u>
内容	<p>本研究では、視覚障がい者の下り階段からの転落を防止するために、デブスカメラで撮影した深度画像を入力として下り階段を検知し、その方向と距離を通知するシステムを提案する。検知には、CNNの深層学習を用いる。システムは、下り階段・上り階段・平坦な床を学習したモデルにより、各カテゴリに分類される確率を出力する。下り階段を検知した際には、階段までの距離を測定し音声で通知する。</p> <p>本稿では、システムの概要について述べ、データセットとモデルの作成、および下り階段検知の試行結果について報告する。</p>